

福岡市ソフトボール協会

【設立年月日】

1962（昭37）年

【加盟年月日】

1962（昭37）年

【歴代会長】

1962（昭37）年 菱山 芳造

1982（昭57）年 古賀 元

1992（平4）年 新宮 松比古

2011（平23）年 津田 隆士

【歴代理事長】

1962（昭37）年 川原田 稲雄

1976（昭51）年 市川 総一郎

1992（平4）年 柴戸 元次郎

2005（平17）年 大富 淳司

【沿革】

ソフトボールは、「野球の為の冬季トレーニングゲーム」として1900年（明治33年）前後にアメリカでおこった「インドア・ベースボール」に始まると伝えられています。

我が国には、大正10年頃に紹介されました。

昭和20年ごろアメリカ駐留軍が、東区雁の巣基地（当時糟屋郡和白町）においてソフトボール競技を改めて紹介して以来、福岡市を中心にソフトボールが普及されてきました。

昭和37年に福岡市体育協会が設立される際に、これに加盟するために福岡市ソフトボール協会が設立されました。

初代会長には菱山芳造氏（城南ビル社長）初代理事長に川原田稲雄氏（福岡通産局）、事務局は福岡県ソフトボール協会内に置き多田道子福岡県ソフトボール協会事務局員が福岡市ソフトボール協会事務局も兼任されました。

この発足における所属の審判員は60名、チーム登録は25チームからの出発でありました。

また、福岡市ソフトボール協会の設立目的は、「市

民相互の親睦と融和をはかり、健康維持と青少年の健全育成を図る」ことを目的として、次の事業を実施するとされていました。

- ①福岡市体育協会との共催による壮年ソフトボール大会を毎年3月に実施する
- ②技術指導員を派遣してチームの増強と育成を図り普及と発展に努める
- ③リーダー・バンク登録指導者の養成講習会を実施し優秀な指導員の養成に努める
- ④公認審判員認定講習会を開催し公認審判員の増員と養成にあたる。
- ⑤市内における総てのソフトボール大会に審判員を派遣し、正しいゲームの運営と指導に当たる。

昭和27年の「第4回全日本高校女子ソフトボール選手権大会」（西宮球場）に福岡中央高校が初出場して以来、6年連続で出場して上位進出を果たしていました。同校は、昭和36年の「第13回全日本高校女子ソフトボール選手権大会」において、各都道府県代表47校の中で見事念願の優勝を遂げました。

また、福岡市内の女子チームでは、私立高校の精華女子高、公立高校の香椎高校、男子チームでは、福岡高校（定時制）、福岡第一高校、城南高校が全国大会に出場して優秀な成績を残しています。

昭和45年8月22日から開催の「第2回世界女子ソフトボール選手権大会」には、世界9ヶ国が参加しアメリカと並んで1位で決勝トーナメントに進出し、決勝でアメリカを1対0で破り世界一の栄冠に輝きました。

全国中学女子ソフトボール大会昭和62年岐阜県岐阜市で開催されました「第9回全日本中学女子ソフトボール大会」で早良区の次郎丸中学校が、決勝戦で栗原中学校（神奈川県座間市）と対戦して両チーム4対4でタイブレークの末次郎丸中学校が初優勝を飾りました。

平成に入り南区の柏原中学が、「第19回全日本中学生女子ソフトボール大会」で上野由岐子投手（現、ルネサスエレクトロニクス高崎）を中心に決勝戦で阿久津中学（栃木県）と対戦して6対1で快勝して

全国制覇を成し遂げました。

また、上野由岐子選手は、「第29回北京オリンピック」で活躍してオリンピック待望の金メダルを獲得しました。

【現在の活動】

福岡市ソフトボール協会では、17の主催大会と6の主管大会を開催しております。

(全日本小学生福岡市大会風景)



全国大会出場を夢みて試合開始のあいさつが終わり今から試合が始まります。

(全日本壮年福岡市大会風景)



福岡市に登録されている壮年チームは、6チームあります。毎年、全日本・西日本・九州壮年大会に出場する為に素晴らしい試合を繰り広げています。

福岡市ソフトボール協会では、毎年審判講習会を開催しております。各地区の末端までルール等が伝達されて「いつでも・何処でも・誰でも」同じルールで同じジャッジを基本に行っております。

(伝達講習会風景)

